

新興企業に投資するLIFTベンチャーズを設立

資生堂

資生堂は、ビューティーウェルネス領域で革新的な取り組みに挑戦するスタートアップ企業への投資を行うため、米州地域本社である資生堂アメリカスを拠点に、新たに「Shiseido Long Term Investments for the Future (LIFT) ベンチャーズLLC (LIFTベンチャーズ)」を設立する。

LIFTベンチャーズは、最新テクノロジーや先進的なプラットフォーム、成長が見込まれるブランド、新しいビジネスモデルを開発する企業を中心に起業間もないスタートアップ企業に対して投資を行う。主に欧米に焦点を当てながら、グローバルな視点で投資先を選定していく。LIFTベンチャーズは資生堂アメリカスCEOのロン・ジー氏が統括する。

gspty Ltd. (Patrick's) への投資を行う。PhyllaはYug Varma博士によって設立されたカリフォルニア州サンフランシスコに拠点を置く企業。Patrick'sはPatrick Kidd氏とAi

me Kidd氏によって設立され、オーストラリアのシドニーを拠点としている。

LIFTベンチャーズの設立により、既存の枠組みを超えて新たなビューティーウェルネスソリューションを創造する企業とパートナーシップを構築し、成長の可能性の拡大につなげていく。

「知識伝承のAI化」ツールの開発を開始

生成AIと検索システムを用い、イノベーションの創出を加速

ライオン

ライオンは、社内の知見を有効活用するための「知識伝承のAI化」ツールの自社開発を進め、研究領域での検証を完了した。これまでに蓄積された多くの技術的知見や実験データの中から、求める情報を研究員の誰もが効率的に取得できる環境を整え、新たな価値・習慣の創造につなげていく。

「知識伝承のAI化」ツールの開発は、クラウドソーシングを組み合わせ、社内を進めている。自然な表現の検索文章の入力により、膨大な社内情報の中にある文書を短時間で取得し、生成AI

が抽出された文書から自身を分析・評価し、質問に沿った簡潔な表現でまとめた結果を表示する。これにより、効率的に適切な情報にたどり着くことができる。

今後、研究領域での活用を目指し試験運用を開始する。将来的には、社内全体を対象を広げること、イノベーションの創出を加速していく。

発酵生産によるバイオ芳香族化合物

「没食子酸」の販売開始

花王は、微生物を利用した発酵生産によって、糖からバイオ没食子酸を製造することに成功し、2023年12月から日本での販売を開始した。芳香族化合物の一つである「没食子酸(ぼっしょくさん)」は、酸化防止剤や半導体の回路形成の原料として使用されるなど工業的に重要な素材であり、これにより、安定的な没食子酸のサプライチェーン構築を目指していく。

没食子酸は、植物ポリフェノールの一つで、体に幅広く利用されている。工業的に重要な芳香族化合物だが、現在、製造例は限られてきた。

花王は、長年培ってきた洗剤用酵素生産研究の知見を活かした発酵生産技術により、没食子酸を(五倍子)から抽出して製造するため、収量が天候に左右されやすく、生産地も限定されている。今後バイオ没食子酸は、アジアや欧州など海外での販売も予定している。また、将来的には没食子酸以外の芳香族化合物の発酵生産も行っていく。

記者の窓

アフターコロナで迎えた2024年のスタートは災害や事故といった悲しく不安な話題が続いた。それらへの配慮で、様々な新年の式典で乾杯や万歳三唱といった儀式が見送られたようである。

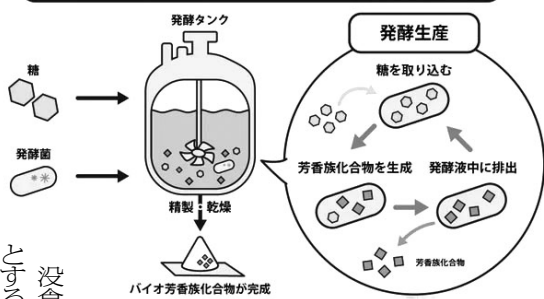
さて、コロナ禍では「あつて当然」だったものが、「なくても平気」なものに変わった

3年の遺失物

たな習慣は早くも定着の様相である。いずれも環境や人への負担を「失った3年」として後世に伝えられているかもしれない。さて、価値観の大きな変化に触れる機会も

温かみに触れる機会も

発酵生産によるバイオ芳香族化合物の製造



没食子酸をはじめとする芳香族化合物

